

家庭で本の読み聞かせを

スキンシップをとりながら、子どもにも楽しく本の読み聞かせをしましょう。



子どもと一緒に図書館へ

子どもと一緒に地域の図書館へ出かけてみましょう。すてきな本が待っています。



読んだら語り合おう

読んだ本について、面白かったこと、考えたことや感じたことを自由に語り合ってみましょう。



学校でも家庭でも、子どもたちといっしょに本を読み、読んだことをもとに話すなど、楽しみながら本に親しむきっかけをつくっていきましょう。

三次市

子どもの読書活動推進計画

【第二次】

～読書活動を通して、ことばの教育の充実を～

読書大好き！
わかるって楽しいね

本は友だち！
いろいろな世界へ
連れて行ってくれる



三次市教育委員会

三次市教育委員会のホームページ

(http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/kyouiku_kyoutsuu/kyouikuiinkai.html) で、「三次市子どもの読書活動推進計画（第二次）」をご覧ください。



平成27～32年度

三次市子どもの読書活動推進計画【第二次】

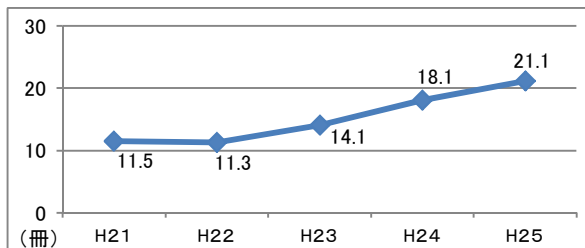
三次市子どもの読書活動推進計画について

子どもの読書活動は、子どもがことばを獲得し、感性を豊かに磨き、表現力を高め、創造力を広げていくものであり、人生をよりよく生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。また、社会が急激に変化し、複雑化していく中で自立的に生きていくためには、読書を通じて本から学び、自らの考えを深める力を養うことが非常に重要だと考えています。

こうしたことから、これまでの第一次（H22～26）の取組の成果や課題を踏まえ、今後おおむね5年間の施策の基本方針と具体的な取組を示した「三次市子どもの読書活動推進計画」（第二次）を策定しました。

三次の子どもたちは？ ～第一次計画における取組の成果～

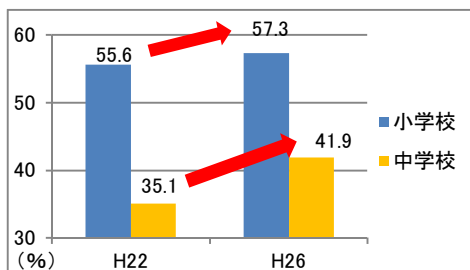
三次市立図書館の子ども一人当たり児童図書貸出数（子ども：20歳未満）



三次市立図書館での本の貸出しの様子

平成21年度は、一人当たり11.5冊の貸出冊数でしたが、様々な取組を充実させることで、平成25年度には約2倍の冊数となっており、市立図書館で本を借りる子どもたちが増えてきています。

読んだ本の内容について友達や家族と話す児童生徒の割合



「読んだ本の内容について友達や家族と話す児童生徒」の割合は、取組を始めた5年前と比較し、小学校・中学校ともに向上しています。今後もさらに、学校でも家庭でも、本の内容が話題となるような会話を進めていきましょう。

基本方針と取組

み

魅力を知る

本を読むきっかけの提供
本を読む習慣化

- 1 乳幼児期からの本の読み聞かせ
- 2 推薦図書を紹介
- 3 イベントを通じた読書活動の普及・啓発
- 4 地域との連携
- 5 学校における全校一斉読書活動の推進
- 6 三次市立図書館における読書活動の推進



君田小・中学校で行われている小中合同読書集会

よ

読み深める

本を読む力の育成
本を読んで生き方を考える機会の充実

- 7 学校における読む力を育てる指導の充実
- 8 本を読んで自分の生き方を考え表現する機会の提供
- 9 読書活動推進リーダー（子ども司書等）の育成



し

しっかり支える

読書活動推進に向けた整備

- 10 学校図書館の読書センターとしての整備
- 11 学校図書館の学習・情報センターとしての整備
- 12 三次市立図書館における蔵書図書資料の整備・充実
- 13 司書教諭等、学校図書館担当者の研修の充実
- 14 三次市立図書館における司書の配置及び研修等の充実

